



STAR 情報

平成16年
新春号

37

発行:
株式会社 北原産業
<http://www.starpack.co.jp>

本社 〒710-0298 岡山県倉敷市玉島爪崎324
TEL (086) 526-3040(代) FAX (086) 525-1322
東京支店 〒104-0041 東京都中央区新富1-13-26(新富TTビル)
TEL (03) 5541-7366(代) FAX (03) 5541-8306

<お届け料理の専門店>

株式会社

よこちゅ



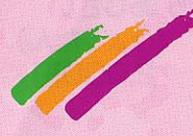
140-100 山苑
(B桃山)
5,000円



110-40 若松 (C-5黒)
900円

115-80 山苑 (A桃山)
3,000円

長野



奈良

職人の味をお届けします。
美食宅配人 さえき



120-90 和膳 (黒)
3,500円



100-100 和膳 (黒)
2,500円



115-80 和膳
(C-1黒)
2,000円



120-65 和膳 (黒)
1,500円

埼玉



80-80 梨地
(C-7みやこ)



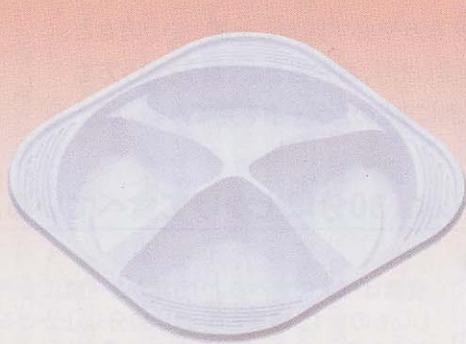
KS-65-A 黒

華のあるお弁当を……
support (有) サポート

110-40 若松
(C-1白)



ミニオードブル



KF-61白

OPS 蓋



KF-61黒

■本体PPF／フタOPS(外嵌合)

■外寸／210×210×30(17)

■セット重量／31.0g

	袋入数	ケース入数
本体	25	800
蓋	25	800

※詳しくは、当社KFシリーズのパンフレットをご覧ください。

中仕切



140-100 F-3 昇(すばる)

■外寸／435×310×35

■ケース入数／60入(別梱包)

この商品に使用できます。

くらしき・会膳・山吹・花板膳・赤紫・波影
悠凪・和膳・草月・瀬音の膳・庵の膳・青嶺の膳
旬菊・山苑・新タメ鉄仙・菊・新朱黒・おもひわび



高級割烹・御料理・仕出し

株式会社

たまさ



120-90 瀬音の膳
(Aあじさい) 6,000円



KS-65-A 黒
7,500円



115-80 別注
(Aあじさい)

株式会社
いづ屋



80-55 味くらべ
(C-1白)

それゆけ
ホクちゃん
「あっちもこっちも…」の巻



豆 腐

日本の食卓におなじみの豆腐ですが、あっさりと淡白な味でありながらすばらしい健康効果があるといわれています。今回はそんな豆腐のお話をします。

豆腐のルーツ

その始まりは中国であり、奈良時代に日本に渡ってきたともいわれていますが、わが国でこれほど慣れ親しんだ食材であるのに、伝来のはっきりとしたことはわかっていません。

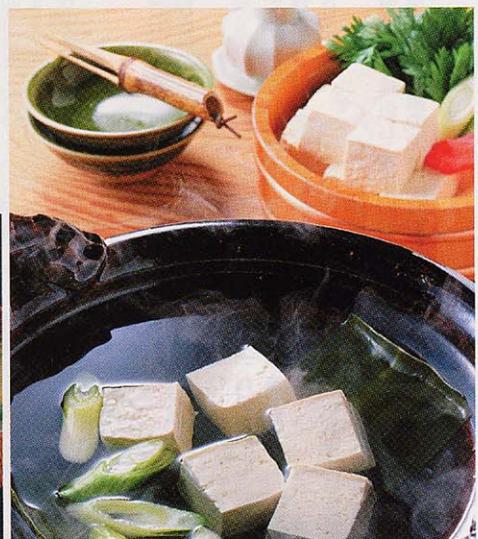
健康食品としての豆腐

豆腐の原材料である大豆は昔から「畑のお肉」といわれ、大事なタンパク源でした。タンパク質といえば肉類と思われますが、肉類にはコレステロールも多く含まれていますから食べすぎるとよくありません。欧米では肉の食べすぎによる、心臓病、動脈硬化、肥満などの生活習慣病が気になるということで、日本食の豆腐が取り入れられました。今や、高タンパク・低カロリーの豆腐は日本だけでなく世界でも注目の食材です。

長寿県として知られている沖縄県では、魚・肉よりも豆腐からタンパク質を取っていることが多いそうです。

もめん豆腐ときぬ豆腐

もめん豆腐ときぬ豆腐の違いをご存じですか?豆乳を「もめんの布でこした豆腐」と「きぬの布でこした豆腐」と思っていませんか? 実は両者は製造工程が違うのです。



大まかに説明すると…

- ・もめん豆腐は、凝固剤で豆乳をある程度固めてから一度くずし、穴の開いた型にもめんの布を敷いてくずしたものをおし入れ、重しをかけて水分を切りながら押し固めます。
- ・きぬ豆腐はもめん豆腐のものより濃い豆乳と凝固剤を穴の開いていない型に流し入れて固めます。

もめん豆腐にはもめんの布目がついています。きぬ豆腐はこれに対し、表面がきめ細かくてきぬの様に滑らかなことからそう呼ばれています。



キムチ

●キムチを食べて無理のないダイエット!

韓国人は肌のきれいな人が多いのに気がつきましたか? それはからか、肥満の人をあまり見かけません。なぜでしょう? 日本人と韓国人のカロリーの摂取量は、韓国人の方が多いにもかかわらず、体脂肪率は韓国人の方が多い結果も出ています。

その答えが、実はキムチの中にあるのです。

キムチの主原料は「唐辛子」です。これに含まれる「カブサイシン」は摂取すると、脂肪を燃焼させる「アドレナリン」の分泌を促します。これによって、キムチを食べて適度な運動を加えれば体脂肪の減少に繋がります。キムチを食べればとんだでも無理のないダイエットが可能になります。キムチには「唐辛子」「にんにく」「白菜」などの野菜類やエビや果物など数十種類の材料を使います。そのため、キムチには先ほどの有効成分「カブサイシン」の他にも「カロチン」「アリシン」「スクルジン」「ビタミンB₁・B₂・C」などが豊富に含まれています。これがキムチを「薬効の宝庫」とも云わしめる所以なのです。

その中でも、ビタミンB類の成分は特に新陳代謝を促します。新陳代謝が活発になると、体内の老廃物や余分な水分を体外へ排出されるようになります。その結果、血液の循環が良くなり、むくみなど女性に起りやすい肌の障害も改善されるのです。さらに、キムチを続けて摂取することにより、常に栄養の行き届いた健康的な肌を保つことができるようになります。

いつまでもきれいで健康な肌を保つていてほしい貴女には、びつたりの食材ですね。

ちなみにキムチには「アコニコ」という人間の肝機能を増進させる成分も含まれており、「口酸」にも効くといわれています。ただ、ぐれぐれも食べ過ぎには注意ください。辛いものの食べ過ぎは味覚障害につながるおそれがあります。普段の食事に適量加えてお召し上がりください。

●キムチの効能

●キムチと美容

●キムチの歴史

■ビタミンA、B、C……キムチは野菜の生産が少ない冬場に、その副材料の持つ様々な栄養成分を供給し、また人体の生理機能の活性化にも役に立つ総合保養食品です。

■低カロリー食品……野菜主体の低カロリーなので纖維分をたくさん含んでおり、腸の働きを助け、糖類やコレステロールの数値を下げます。(糖尿病・心臓病・ふとり過ぎなど成人病の予防や治療にも役に立ちます)

■乳酸菌の整腸作用……乳酸菌の増殖により、ヨーグルトのように腸内の酸度を下げて有害菌の生育を抑制・または死滅させる整腸作用があります。

●生理代謝を活性化

■唐辛子……胃液の分泌促進、消化を助けるカブサイシンが多く、ビタミンA・Cの含有量も多く含まれています。(抗酸化作用を通じて老化を抑制します)

■にんにく……スクルジン成分はスタミナの増進効果とアリシン成分は、ビタミンB₁の吸収を促進して生理代謝を活性化する効果があります。

■生姜……ジンジヨロールは、食欲増進、血液循環を良好にする作用を持つています。

●その他水産物

……アミノ酸を供給して栄養の均衡をはかります。

■キムチの熟成過程

野菜に各種の香辛材料を入れて熟成させ、野菜の細胞内に調味液が浸透し、微生物によつて発酵し、酸が生成され、キムチ特有の香りと味が生まれます。

■キムチ用野菜の前処理に天日製塩を使う理由

天日製塩には野菜の細胞組織を分解して発酵作用を抑える成分が含まれているので、初めての処理過程で塩漬けしても細胞の破壊を防ぎ、キムチの調味液をよく浸透させます。

■キムチ調味液の「重効果」

調味液は、キムチの味を受けたり栄養成分を提供し、適正の濃度を維持すると、有用な菌の活動を維持し、有害菌の活動は抑制できます。

●キムチの乳酸発酵

キムチの熟成に一番大切なのが、乳酸菌による乳酸発酵で、キムチの味付けはもちろん、保存性をも高めます。

生成された乳酸は、他の有機酸と並んで腐敗菌の活動を抑制しながら、野菜の成分と有機的に調和してキムチ特有の味を生むことになります。一般的にpH4.2～4.0、酸度0.3～0.7程度がキムチの味もよくビタミンCの含有量も最高になるといわれています。

●キムチの歴史

人類は農耕生活を始め穀物が主食になるにつれて、栄養のバランスのため、ビタミンミニマリストの豊富な野菜を食べるようになります。そして、野菜の生産が難しかった寒い冬にも食べられるように塩漬けという貯蔵方法が自然発生的に開発されました。韓国ではすでに7世紀から塩漬けとして「キムチ」の歴史が始まっています。

■唐辛子を使ったキムチの誕生

初期のキムチは単純な野菜の塩漬けでしたが、16世紀に韓国に伝來した唐辛子が、18世紀頃からはキムチ作りに使われるようになりました。特に、19世紀には結球白菜栽培が普及して、現在の典型的な韓国キムチの姿を整えるようになりました。

■キムチといっしょ葉の由来は?

キムチといっしょ葉の起源は、「野菜の塩漬け」を意味する「沈菜(チムチエ)」が長い年月が経つ間に、沈菜(チムチエ)→チムチエ→キムチエ→キムチの形に変わりながら、「キムチ」として定着したと言われています。

■なぜ韓国でキムチが発達したのでしょうか?

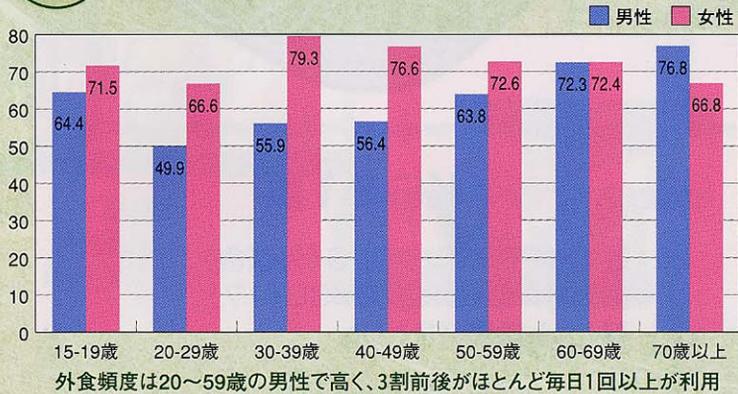
世界的にも野菜の発酵食品の例はあまり多くなく、韓国でキムチとして発酵食品が発達したのは昔、農耕中心で、野菜を好みで食べていたことや、水産物の塩漬け技術に優れていたので、それが味として幅広く用いられていたこと、特にキムチ作り用の結球白菜が広く栽培普及されるようになったことなどが挙げられます。



食事環境に対する意識調査

ひとくちに食事環境といつても、いつも一人で食事する方や必ず誰かと一緒にいる方など、人によって様々だと思います。また、仕事の関係で外食したり、お弁当をよく買うという方も多いようです。今回はそんな食事環境について男女別にまとめたデータを見てみましょう。

1.1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べている人の割合



外食頻度は20~59歳の男性で高く、3割前後がほとんど毎日1回以上が利用

食事は一人で食べるよりも誰かと一緒に食べた方がおいしいものです。時間もゆっくり30分以上かけるのが健康面でも大切。しかし、仕事で忙しい最中にさっと済ましてしまったり、気づかない間に毎日偏った食事を摂っていたりします。データによると20代男性の半数以上が外食がほとんど。仕事などで夜遅くなったり、家族と住んでいても一緒に食事を摂るのが難しいようです。女性の場合は若年でも食事に対する意識が高いのか、データによるとどの世代でも半数以上の人気がきちんとした食事を摂っていることが分かります。

2. 外食の利用頻度(市販の弁当などの利用も含む)



男女とも、外食の利用頻度が高いほど、野菜の摂取量が少ない

男性が外食(弁当含み)を利用する頻度は非常に高く、50代になっても3割近い人たちが、週のうち2回~5回は外食を利用しています。そして、女性の場合は30代を境に外食を利用する人の割合はぐくっと下がります。男女共に言えることは、20代~30代の働き盛りの若い人たちが外食を一番利用しているということです。そして外食を利用している頻度が多くなるほど野菜の摂取量が少なくなっているというデータもあります。お弁当の内容やサイドメニューに、野菜が豊富に摂取できるものを取り入れることが、お客様に喜ばれるのではないかでしょうか。

3. 栄養や食事についての情報源



栄養や食事に関する情報源として多くあげられたものは、男性は、テレビ・ラジオ (56.2%)、家族 (46.0%)、新聞 (32.8%)。女性は、テレビ・ラジオ (76.0%)、雑誌・本 (55.3%)、友人・知人 (45.9%)。

いくら食事に気を使わないといつても、ふとしたきっかけで健康に不安を感じることもあります。そんな時に食事や栄養に関する情報が気になります。そういう情報の発信源は一体どこなんでしょうか? 調べによるとテレビ・ラジオから情報を得るのがほとんどで、後は家族や雑誌・新聞などから得ているようです。テレビやラジオの健康情報番組をチェックすることで、人気商品を開発するヒントが得られるかもしれませんね。

おいしいお料理・お弁当

福豆屋

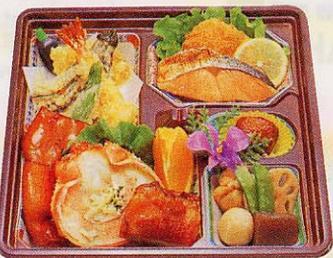
福島



KS-86 あじさい
(ひょうたん)
2,000円



KS-66-A らんか
5,000円



KL-105A 若杉ごぜん
1,500円

岡山

水上



120-90 草月 (C-7美里)



KS-67-A 朱



140-100 菊 (C-7涼風)



KS-67B 朱



140-120 和膳 (桃山)
焼物・寿司・刺身・ちゃん蒸し・お汁付・1品
6,000円



KL-108 黒
2,000円



KS-67-A らんか
6,000円

NPニッポウチェーン株式会社

竹田ドライフーズ

大分